

平成28年12月1日

題字は
4-11-2
梶谷清苑さん

越市長と意見交換

空き家対策問題で

市の空き家対策のモデル地区として取り組むことにした。街の世代交代が進むなか、みなさんと知恵を絞り、モデル地区にふさわしい事業ができないかを考え、これからも住み続けたいまちづくりを進めたい」と述べ、日吉台をモデル地区にした市の空き家対策事業を検討する方針を明らかにした。

同市は、市立幼稚園や

学区自治連方針

認定こども園誘致へ！

市の幼稚園再編計画受け

出したことで、危機感を持った学区自治連と連携をとり、協議会は、平成26年春、「幼児施設の日、吉台への存続」を求め、市議会に請願を行うなど運動を始めた。ところが、市教委は、今年度になつて新たに公立幼稚園の3年保育実施と引きかえに基準の園児数に達しない幼稚園については、さら

地区で、三重県名張市の法人による保育園設置計画が明らかにになり、日吉台幼稚園の存続はますます厳しい状況となり、まちづくり協では、協議を重ね保育機能を備えた認定こども園設置要望に焦点を絞った運動に切り換えが得策と判断した。

乗客増対策で連携

江若交通と学区自治連

自治連側が、10月22日から実施のダイヤで、平日の最終便で1本、土、日、祝日のダイヤで2本カットされたことについて説明を求めたのに対し、江若交通側は「今回の最終便減は、日吉台だけではなく。近隣の3住宅団地すべてダイヤの見直しを実施した。少子高齢化の影響で乗客減に歯止めがかからず今回このよう

支所の統廃合など行政コスト削減化の論議を展開させるなか、越市長は「高齢化対策や子育てに必要なお金は使う」と言明、自治連側が「空き家対策は、ただ、空き家を埋めれば良いというものではない。日吉台幼稚園の統廃合問題、町内を走るバスの足確保問題など課題は山積している。空き家対策は日吉台の再生計画に大きなウエートを占めまちづくりの一環として考

資源回収団体募る

市・交付金で支援

大津市は、ごみの減量と資源化を推進するため集団資源回収する団体を募っている。

町内会、子ども会、PTA、自主防災会などの市内の市民団体が集団資源回収をした場合、回収量1キロあたり4円の補助

利用キャン

利用キャンペーンを強化

足確保へ市に支援要請も

学区まちづくり協議会は、江若バス利用促進キャンペーンの強化策として、学区内のバス路線沿線に学区自治連名の「バスに乘ろう」キャンペーンのぼりの設置、バス車内に広告掲載、住民向けキャンペーン告知チラシ配布などを決め、学区自治連側にキャンペーン予算を要望、学区自治連も役員

会で予算計上を認めた。学区自治連は、このキャンペーンを展開するとともに江若バスが走る仰木の里学区自治連合会、真野北学区自治連合会、小野学区自治連合会などにキャンペーンの協調を呼びかけるほか、市に対してもキャンペーンに対し支援を要請することになっている。

今後、自治連では、バスに
乗る運動を始めたが、

促進運動を展開するとともに情報交換を密に協調して利用促進のキャンペーン

◆暴力団追放大津地区総決起大会

12月10日午前10時、明日
都浜大津2階ガス燈広場。
総決起大会のあと川口公
園―淡海一家事務所前―
菱屋町商店街約1^キを街
頭パレード、市民の暴力
団排除意識の高揚をはか
る。

この日の懇談会では、協定締結案は江若側が持ち帰って検討することになり、足の確保に関し、大津市側に要望することにも申合せた。

不点燈街灯
市に通報を

金を交付、回収奨励している。資源回収の対象品目は古紙類（新聞、雑誌、雑がみ、ダンボール）、布類（古着、布切れ）、

アルミ缶となっている。
新たに資源回収を始め
たい団体は市廃棄物減量
推進課（077・528・
2802）まで。

毎月 第2土曜日の
燃やせないごみは
8時30分直前に！

日吉台学区自治連合会

- 燃やれたいからでも廃棄や廃棄品など資源ごみを持ち去る
廃棄場が自市からでも確認されたい。
- 資源品は、早朝から燃やれたいから回収が始まる 8 時 30 分
の間に、自治会事務をトラックで取り、価値のある廃品を
見つければこのときを後取りで取り去る。
- 資源ごみは大都市の**重要な材料**にもなっています。
- ごみに金属や家電商品などが含まれている場合、**可能な方
はできるだけ 8 時 30 分直前に**出して頂ければ資源を
防ぐ最も有効な手段になります。
- ただし、大都市によるごみの回収は 8 時 30 分直後から始
まり、以後は回収されない場合があります。この時間以降
に合うようご注意ください。

やめよう
路上駐車



緊急車両の通行の妨げ、消火栓等の使用の邪魔になることがあります
見通しが悪くなり、事故を誘発する危険があります

日吉台学区 自治連合会

ひと

ハン六文化財団贈賞ハン六助成受賞

向山エイ子さん（92）

日吉台2丁目

☆坂本にある老人ホーム入居者に28年間ボランティアで書道を教えるにかけた功績が認められた賞。ご自身も92歳という高齢。周囲からおめでとう声が広がっています。

思いもかけないごほうび。喜びよりも私がこんな賞をもらってよいのか、と恐縮しています。

住み、40年ほど前から地域の文化活動で毎日書道展参与会員の浅野仰山先生に師事、書を学んできました。平成元年ごろ、近くの西教寺の老人ホームで、書道を教えるにきて欲しいという話があり、引き受けたのがきっかけで通うようになりました。

☆ご苦労もあったと思いますが、長く続けられたのは、自らの楽しみもあったのでは。

でスタートしました。練習は、四季おりおり特徴ある漢字を選び、漢字4文字、ひらがな、行書などを交え稽古しています。毎月2回の稽古ですが、練習を重ねるうち入所者のみなさんの腕もあがって、互いに褒めあう姿をみると、私も世のなかのため役立っているのだとわかり、うれしく思います。このうれしさが長く続いた要因ではないかと思っています。

☆ホームのみなさんはどんな生徒で

書とテニスが健康のバロメーター

ホームで教え始めたころはまだまだ未熟。仰山先生のお手本を持参、ホームのみなさんと一緒に練習するつもり

すか 教え始めた最初のころは20〜30人の生徒がいました。最近では、ホームの入所者も高齢化がさらに進んで4〜5人ぐらいに減っています。これまで延べ約3500人近い人に書を教えたことになりました。

☆書もそうですが、今でもソフトテニスを楽しんでいると聞きますが

当時としては珍しくコートがあり37年間の空白の後、テニスを再開しました。☆テニスは、書とともに生きがいですね

山梨で開かれた第5回ねりんピック決勝で東京都を破って団体優勝、77歳のとき、シニア女子選手権で優勝したのが思い出深いです。今でも練習日にコートに出かけ、みなさんのお世話を楽しんでいます。書道、テニスともども元気に参加できることが喜び。私の健康のバロメーターです。



学区内3台目の防犯カメラ

安心、安全のまちづくりに威力

日吉台地区で、3台目となる防犯カメラが4丁目東地区に設置された。学区自治連が、滋賀県警が行う地域安全カメラ貸付設置支援事業に申請、1台の設置がこのほど認められ、11月上旬設置工事が行われ、運用が始めたⅡ写真。

この事業は、滋賀県警が県内の企業から寄贈を受けた防犯カメラを県内の地域に貸し付け、地域の防犯活動に役立ててもらう制度。日吉台学区では、この制度ですでに2台を設置、地域の安全、安心のまちづくりに威力を発揮している。

3台目のカメラは、4丁目東地区の住宅街、民家のポールをお借りした。民家前の道路は、大津市坂本地区から湖西道路側道沿いに雄琴地区へ通ずる抜け道。土、日曜日になると、国道161号や湖西道路の混雑を避けた車が狭い住宅街を行き交い、住民を悩ませている。自治連はこのあと、市民センター前交差点、市



グラウンド整備ありがとう

日吉台幼稚園

園児らがお礼のダンス



幼稚園の運動会の朝、幼稚園のグラウンドが前夜の雨で水たまりができていた。運動会開催が危ぶまれたのを知った同中野球部員らが練習を兼ねて幼稚園までランニング、グラウンドの水をスポンジなどで吸い取るなどしてグラウンド整備、無事運動会開催にこぎつけることができた。

運動会の日に雨でぬかるむグラウンド整備をしてもらったお礼に日吉台幼稚園の子どもたちが、お世話になった日吉中野球部のお兄さんたちを招いてお遊戯やダンスを披露したⅡ写真。

この日も野球部員19人がランニングしながら幼稚園へ。園児や幼稚園の先生らの歓迎を受け、遊技室に入り整列、園児8人が「ありがとうございました」と大きな声で感謝の言葉を述べたあと、ダンスを披露、お兄さんたちと楽しく交流した。

災害に備え防災訓練

日吉台学区自主防災会（高村克彦会長）は、地震などの災害に備え、11月6日、住民約400人が参加して学区防災訓練を行なった。災害時における住民の安全確認と安全な場所への避難誘導を図るのが狙い。

午前8時、訓練開始。市民センターに野々口義信学区自治連会長、高村学区自主防災会会長、学区

自治連役員ら緊急集合。同時に8丁目民らは、各丁が指定した公園など安全な場所に避難、地域の防災担当者が安全確認後、トランシーバーで本部に報告、住民らを学区自主防災訓練会場の日吉台小へ誘導した。

訓練の主会場の日吉台小では、参加者らは校舎横に設置した煙テントで、煙のなかの現実を体験し

たあと体育館に入り、災害記録映画を見て3班に分かれ消火器体験訓練、放水体験訓練、救命救急訓練に参加したが、いざ本番に備えみな真剣そのもの。訓練を通じ防災意識の高揚に努めた。

どんど焼きなど開催

新春恒例行事

日吉台小で、新春の1月7、8両日、恒例の「もちつき大会」と「ど

んど焼き」が行われる。伝統行事の良さをつたえ住民の無病息災を祈願するため日吉台夢・未来事業推進委員会が平成19年から始めた新春の風物詩。

もちつき大会は、7日午前10時、どんど焼きは、8日午前10時、開催。校庭に組まれたやぐらに各家庭から持ち込まれたしめ縄、お正月かざり、書初めなどが入れられ点火、残り火でおもちを焼いた、あつあつの豚汁もふるまわれる。

野菜マルシェ定例開催（旧滋賀銀前

学区まちづくり協議会の「野菜マルシェ」は、12月から毎月第2土曜日の午前10時、旧滋賀銀行日吉台出張所前アーケードで定期開催する。

この野菜マルシェは今年6月初めて開催。不定期の開催だったが、毎回70人前後が新鮮な野菜を求めて訪れるようになり、日吉台住民に定着するようになってきた。

12月からは、旧滋賀銀出張所前の利用が可能となり、定期市の開催にこぎつけることができた。地元の野菜を集荷するため天候などの影響で集荷量がばらつき、すぐに売り切れとなることもあるという。主催する野菜マルシェ関係者では、野菜の出展者も募集中。詳しくは、小林嘉津代さん（090・2012・6885）まで。